

春風秋霜

7月号

令和元年7月1日
島田市教育委員会だより
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 いじめ問題対策連絡協議会に参加して

5月29日(水)に第1回いじめ問題対策連絡協議会が開催されました。会長の常葉大学太田正義教授からいじめについて、これまでの研究結果から次のような報告がありました。

- ・ 過去にいじめの被害経験がある者が加害者になった場合は、いじめが深刻化しやすい
- ・ 過去のいじめ加害者が被害者になった場合は、いじめが深刻化しやすい
- ・ 教師へのヘルプが解決につながらなかった時に、いじめが深刻化しやすい
- ・ 深刻ないじめ被害を受けている子供には、被害をあえて軽く伝え、明るく振舞うことにより自尊心を保とうとすることがある

いじめの連鎖がいじめの深刻化につながるという結果からは、長期にわたる当事者の観察が必要になるということを実感しなくてはなりません。解決と思った案件でも次学年への引継ぎが必要になります。

いじめについては、教師に相談する時には、深刻化していることが多いことや、最初に相談した時にしっかり対応してもらえないと、以後の相談をあきらめてしまうという調査結果もあります。教師は、このようないじめの特性をよく理解し、いじめへの対応をしないことはなりません。今年もいじめ問題対策連絡協議会によるアンケート調査が行われますから協力をお願いいたします。

2 市町教育委員連合会研修会に参加して

5月31日(金)に山梨県北杜市で行われた研修会において、長野県立大学金田一真澄学長の「人生100年時代を見据えた教育のあり方」という講演を聞きました。教育へのヒントが数多く語られたので紹介します。

- ・ 学力と共に人間力を育むため、共同生活を重視する。(全寮制)
- ・ 自己肯定感を高めるため、プレゼンテーションを意図的に行い、皆の前で誉める場を作る。
- ・ AIに負けないためには、文章の表現力・理解力を重視する(AIは東大に入る知識はあっても、文章読解力は人間に劣る)
- ・ 大学で学んだ最新の知識も10年たてば古びてしまう。読書は人生100年時代の必須アイテム
- ・ 笑いは副作用のない精神安定剤。健康のため心からの笑いを大切に。
- ・ 専門性とグローバルな視点を持った指導の重視(長野県立大学は、全科で海外研修)
- ・ 子供が好きで、子供の心に火を灯す教師になって欲しい。

3 議会一般質問から

6月議会一般質問において、藤本議員からは学校統合の質問がありました。今後、北部地区の学校説明会やパブリックコメントを経て、8月の教育委員会定例会で決定すると答えています。

5月21日(火)の北部地区説明会後のアンケート調査では65.9%の方が、5月28日(火)

の初倉地区説明会では 85.4%の方が、説明した内容に理解を示してくれました。北部地区では、初めて説明を聞いた方も多かったため、今後の学校説明会において更なる理解に努めていきたいと考えています。

大石議員からは、社会教育に絡めコミュニティ・スクールについて問われました。島田市の地域の力による取り組みとして、川根町青年団や市子連の他、子供見守り活動や自治会主催の寺子屋事業を紹介しています。これ以外にもジュニエコやチャレンジクラブなど地域の教育力が生かされた取り組みはたくさんあります。課題は、恩恵を受けている子供たちが、その恩恵を自覚し、自分たちに何ができるかを考えることだと思います。子供たちの中に、いつか地域のために貢献したいという意識を育てたいものです。

コミュニティ・スクールについては、本年度試行、来年度市内全校で取り組むと答えています。社会に開かれた教育課程のためにも、地育の推進にも役だつと考えています。その時、地域と学校を繋ぐコーディネーターの存在が重要です。公民館長や地域おこし協力隊などの活用も進んでいますが、人材を育成するということも大切になると思います。

大関議員からは、文化財の活用について質問がありました。島田市には多くの指定文化財だけでなく、市民遺産のように残していかなくてはならないものもたくさんあります。これからの時代は、文化財等の保存だけでなく、活用についても考えていくと答弁しています。保存や活用のためには、文化財の理解が欠かせません。島田市の博物館には、学芸員がいます。授業の支援も行っていますから、各学校での積極的な活用をお願いします。

肘かけ椅子

加藤 雅通 スポーツ振興課長

『田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場』

昨年度から、伊太田代の郷（伊太和里の湯の北側）に子どもから高齢者まで、気軽に健康の保持増進ができる多目的スポーツ・レクリエーション広場の整備を行っています。

今年は、この広場のメイン施設となる大型複合遊具の工事が実施されます。

この大型遊具の設置とあわせて、芝生広場も整備しますが、広場のPRと市民の皆さんに愛着を持っていただけるよう、市民参加による芝生の植付けをこのほど実施いたしました。

地元伊太地区の皆様や伊太小学校、大津小学校の子どもたちが大勢参加してくれて、にぎやかな雰囲気の中で実施できました。施設が出来上がったあと、子どもたちが元気に遊んでいる光景が目には浮かびました。



植付けた芝はティフトン芝と呼ばれる芝で、成長が早く、今年の夏の終わりごろには、緑色の芝生に覆われると思います。

来年の3月には、工事も完成し、施設がオープンする予定です。ぜひ、訪れてみてください。また、この広場の愛称も募集します。ふるってご応募してみてください。詳しくは広報しまだ7月号を御覧ください。